

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	108										
事務事業名	土曜日補習教室事業費					補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	01	目	03	事業	07	
担当部	教育委員会	担当課	指導課	担当係	係																
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)					根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市小学校土曜日補習教室の設置に関する規則)														

2 事務事業の目的			当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か？→ ②一方で、「現状や課題」はどうか？→ ③そのためには何をすべきか？ という過程で考えていただいても結構です。			
現状課題	平成26年度に事業開始。現在、平日の放課後に5会場(水海道小、豊岡小、絹西小、岡田小、石下小)土曜日は2会場(水海道図書館、石下福祉センター)において、児童の自主学習の機会を提供している。開室時間は登録者の利用状況から1日4時間から3時間に見直した。開設校の児童だけでなく、他校の児童も帰宅後に入室できるよう配慮している。(H30登録者259人。R1登録者173名(R1.10.1現在))	誰・何を対象に	市内小学校4年生～6年生までの希望する児童対象に自主学習のサポートをする。		望ましい状態	児童が、静かな学習環境の中で、経験豊かな指導者の支援を得ながら、学習に取り組んでいる。保護者が経済的負担を心配することなく、学校以外の場で安心して学習させたり、教育相談ができる環境がある。家庭学習の習慣が身に付き、自主的に学ぼうとする児童が増える。
どのような方法・手順で	水海道地区(平日:水海道小・豊岡小・絹西小 土曜日:水海道図書館) 石下地区(平日:岡田小・石下小) 土曜日:石下総合福祉センター)にて平日(火水木)15:30～19:30、土曜日9:00～13:00開室。指導員を16名程度確保し2名ずつ配置する。					

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。										
指標名	通室希望の教室に、実際に登録できた児童の割合	単位	%	目標値	100	目標年次	2021	年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)										

4 事務事業の実績 ㉠										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。									
年度	平成28年度				平成29年度				平成30年度										
事務事業を構成する主な業務	業務名		活動量		業務名		活動量		業務名		活動量								
	①	指導員の配置(2000円/時)	4545時間		①	指導員の配置(2000円/時)	4887時間		①	指導員の配置(2000円/時)	6480時間								
	②	学習消耗品	6教室		②	学習消耗品	6教室		②	学習消耗品	7教室								
	③	燃料費(ストーブ灯油代)(公共施設を除く)	4教室		③	燃料費(ストーブ灯油代)(公共施設を除く)	4教室		③	燃料費(ストーブ灯油代)(公共施設を除く)	5教室								
	④				④				④										
	⑤				⑤				⑤										
	⑥				⑥				⑥										
	⑦				⑦				⑦										
	⑧				⑧				⑧										
	⑨				⑨				⑨										
	⑩				⑩				⑩										
	⑪				⑪				⑪										
⑫				⑫				⑫											
目標値に対する実績値		100	%	目標値に対する実績値		100	%	目標値に対する実績値		100	%								
決算額	計	9,354,287 円	内訳	特定財源		円	計	9,927,400 円	内訳	特定財源		円							
				一般財源	9,354,287 円			一般財源	9,927,400 円			円							
		(住民一人あたりの行政コスト)		154 円		(住民一人あたりの行政コスト)		164 円		(住民一人あたりの行政コスト)		187 円							

5 担当者評価 ㉡		実施したことによる成果や問題点を記入してください。	
成果	ほぼ目標どおり	成果内容	児童・保護者・学校職員(校長・教頭・担任)から、児童の学習意欲の向上、学習態度の改善がみられるとの報告がある。送迎時に随時行われる指導員からの助言が保護者から好評であり、保護者の児童との関りや家庭教育力の一助になりつつある。
問題点			・実施教室の確保 新設の絹西小は空き教室がなく、図書室で実施。将来的には常設教室の確保も検討。 ・学習指導員の確保 児童の学習支援や学習指導体制と保護者対応の質を保持するため、経験豊かな指導員の確保。 ・予算の確保 学習指導員の増員に伴う賃金の予算確保 消耗品の十分な供給 ・「放課後子どもプラン」との連携・協力体制の確立 事業間の実施内容の共通理解と児童の引き渡し方法の周知徹底

6 担当部長及び担当課長評価 ㉢		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	放課後の児童の自主的な学習の習慣化とそのための場の提供は、児童・保護者からの要望が多い。特に放課後直接通室できるようにするためにはより多くの設置が望まれるところである。実際に、保護者・児童から「ほっとサタデー教室なら集中して学習に取り組める」ことや、指導員との信頼関係が基盤となって、児童が学習に向かうための協力体制の強化が短期的・長期的な教育効果をもたらす事業として、将来的には更なる充実を念頭に置きつつ実施内容の充実を図るものとする。		

7 実施計画 ㉣										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。									
年度	令和元年度				令和2年度				令和3年度										
事業内容	指導員の配置 ●実施場所 平日(火・水・木)：水海道小、豊岡小、絹西小、石下小、岡田小 土曜日：水海道図書館 石下総合福祉センター ●実施時間 平日(火・水・木)15:30～19:30 土曜日 9:00～13:00 ●指導員 教職経験者 16名 (2000円/時)				指導員の配置 ●実施場所 平日(火・水・木)：水海道小、豊岡小、絹西小、石下小、岡田小 土曜日：水海道図書館 石下総合福祉センター ●実施時間 平日(火・水・木)15:30～18:30 土曜日 9:30～11:30 ●指導員 教職経験者 15名 (1500円/時) ・報酬 8424千円 ・旅費 665千円				指導員の配置 ●実施場所 平日(火・水・木)：水海道小、豊岡小、絹西小、石下小、岡田小 土曜日：水海道図書館 石下総合福祉センター ●実施時間 平日(火・水・木)15:30～18:30 土曜日 9:30～11:30 ●指導員 教職経験者 15名 (1500円/時) ・報酬 8424千円 ・旅費 665千円										
	その他 学習消耗品及び燃料費 ※保険料 800円(放課後子どもプラン)は別途 保護者負担				●保険料 ※R2年度から公費として歳入・歳出扱い 年間保険料 600円(放課後子どもプラン)×115名 = 69,000円 ※参加予測数と学童等で加入済みとなるものを除いた平均加入率から算出				●保険料 年間保険料 600円(放課後子どもプラン)×115名 = 69,000円 その他 学習消耗品及び燃料費 225千円										
	参加を希望する児童のうち、実際に参加した児童の割合				参加を希望する児童のうち、実際に参加した児童の割合				参加を希望する児童のうち、実際に参加した児童の割合										

8 財務アドバイザーの見解	
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。	

9 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。ただし、本事業により児童の学習意欲の向上、学習態度の改善が認められるならば、拡充も念頭に事業内容の精査、分析し、さらなる充実にも努めること。また、適正な受益者負担の検討は必要である。	

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉤	
事務事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	将来を担う子供たちに自主的な学びを提供する場として定着している。また、学習意欲や学習態度の改善などに効果が見られ、児童及び保護者からも好評な事業である。今後はPRをし、参加者の拡大を図り継続事業とする。

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉥										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容	将来を担う子供たちに自主的な学びを提供する場となり、学習意欲や学習態度の改善などに効果が見られている。登録者の利用時間の実態から、開室時間を1日4時間から3時間に見直した。また、実施校以外の児童の利用のPRを進め、利用者を増やしていく。																		